

報道関係者各位

PRESS RELEASE 2015年7月2日

外交関係樹立80周年「日・中米交流年」 劇団影法師、キューバなど中米7か国巡回公演 ～モチモチの木・鶴の恩返し～

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、日・中米交流年(グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカとの外交関係樹立80周年)を記念し、中米7か国9都市において、7月下旬から約1か月にわたり、劇団影法師による影絵劇と人間影絵(ボディシルエット)の巡回公演を行います。キューバを含む4か国では初めての公演となり、現地からも期待が寄せられています。



演目のひとつ、「モチモチの木」は厚生労働省中央児童福祉審議会の推薦作品。斎藤隆介氏と滝平二郎氏の名コンビによる絵本童話「モチモチの木」が大きなスクリーンに映し出され、滝平氏の切り絵キャラクターと、児童歌の代表的な作詞家である香山美子氏の脚色による歌が見事に溶け合い、ドラマティックな影絵人形劇が展開されます。子どもはもちろん、必ずしも日本に馴染みのない一般市民にも影絵を体感してもらうため、観客を舞台に上げての即興ワークショップも実施する予定です。日本の風景、家族愛、人間と動物の愛情を詩情豊かにスペイン語で語りあげ、家族の絆や子供を大切にす中米諸国の観客に向けて影絵の魅力を存分に伝えます。

ぜひ出演者の中米公演への意気込みや、現地での活動の様子をご取材いただけましたら幸いです。詳細についてはお問い合わせください。

■公演日程/会場

・ コスタリカ (サンホセ)	7月 28、29 日	ユージン・オニール劇場
・ パナマ (パナマシティ)	7月 31 日、8月 1 日	バルボア劇場
・ キューバ (ハバナ)	8月 4、5 日	国立劇場・コバルビアホール
・ ホンジュラス (サンペドロスーラ)	8月 8、9 日	ホセ・フランシスコ・サイベ劇場
(テグシガルパ)	8月 11、12 日	国立マニュエル・ボニージャ劇場
・ ニカラグア (マナグア)	8月 15 日	国立ルーベン・ダリオ劇場
・ エルサルバドル(サンサルバドル)	8月 19 日	国立サンタアナ劇場
・ メキシコ (メキシコシティ)	8月 22、23 日	市立エスペランサ・イリス劇場
(サンルイスポトシ)	8月 25、26 日	ラ・パス劇場

■スタッフ・出演者

【団長・演出】山崎靖明 【琵琶奏者・音響】五十嵐白林 【照明・制作】管祥子
【尺八奏者・司会】菱本幸二 【演出助手・舞台監督】神山晃人 【照明】和田覚
【出演】神山晃人、五十嵐白林、菱本幸二、和田覚、葛西千里、窪田亮、湯浅香織、矢野あずさ、田部井千晶

【主催】 独立行政法人国際交流基金

【共催】 在コスタリカ日本国大使館、在パナマ日本国大使館、在キューバ日本国大使館、在ホンジュラス日本国大使館、在ニカラグア日本国大使館、在エルサルバドル日本国大使館

【協力】 アエロメヒコ航空、コパ航空、セルバンテス文化センター東京

●主催者・本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 文化事業部 事業第1チーム (泉、加藤)

Tel: 03-5369-6061 / E-mail: arts1@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ: 国際交流基金 コミュニケーションセンター(担当:川久保、麦谷)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

■劇団影法師



1978年に創立。演劇の創造と普及を活動理念に、影絵をはじめとする各種演劇ジャンルに取り組み、多様な形態で、文化庁主催・助成公演などを日本全国において行っている。常に既成の概念にとられない斬新なアイデアと新技術を導入し、日本の影絵人形劇界並びに演劇界において精力的な活動を展開。

劇団創立10周年にあたる1988年からは国際文化交流にも積極的に取り組み、欧米をはじめ、アジアやアフリカの国々16か国の芸術家と22作品の国際共同制作を実現するほか、海外公演は14作品を24か国72都市において実施している。

このような舞台芸術における国際交流の功績により2004年には、戦後の日本演劇界初の外務大臣賞を受賞。活動の場は舞台芸術の分野だけに限らず、各種博覧会における影絵技術協力・NHK「みんなのうた」等、広くマスメディアにおいても活躍。特に、劇団影法師が日本で初めて創作したオリジナルの人間影絵はTV等でも取り上げられ、注目される影絵パフォーマンスの一つとなった。

「演劇は生きる活力を与えるものでなければならない。そして世代や国境を越えてより多くの人々に感動を届け、愛される作品を送っていく」ことをモットーに創作活動と文化交流事業が、世界の人々の相互理解を深める心の掛け橋となることを願いながら活動を続けている。

■演目：人間影絵「このゆびとまれ」（ノンバーバル作品）

観客の想像力をかきたて、心を揺さぶる人間影絵の数々、日本の忍者影絵や動物影絵などスクリーンいっぱい広がる、影絵パフォーマーたちの不思議な影の世界。劇団影法師が光と影によるニューパフォーマンスとして創りあげた“人間影絵パフォーマンス”です。



●主催者・本事業に関するお問い合わせ：国際交流基金 文化事業部 事業第1チーム（泉、加藤）

Tel: 03-5369-6061 / E-mail: arts1@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ：国際交流基金 コミュニケーションセンター（担当：川久保、麦谷）

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp